

第12回 畜産草地科学科教員セミナー

2022年**12月13日** (火)

15:30-16:30

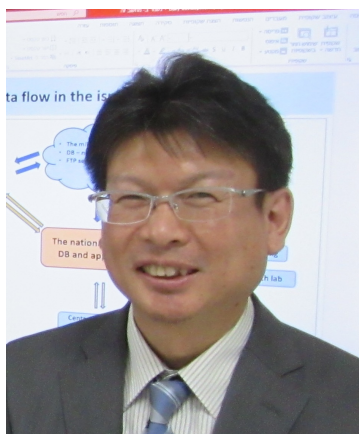
農学部講義棟2階 **L204**
(対面のみ)

SNP情報を用いた 家畜の改良と遺伝的多様性の確保への取り組み

農学部・畜産草地科学科
動物遺伝育種学分野

教授・ **井上 慶一** 氏

(2022年11月着任)



家畜個体の遺伝的な能力を正確に予測し、能力の高い個体を選抜することが、改良速度の向上につながります。遺伝的能力の予測には、個体間の遺伝的な関係が重要な要素となっており、従来の手法では血統情報が用いられてきました。

近年、SNP（一塩基多型）情報を用いることで、従来の血統情報よりも詳細な個体間の遺伝的関係の構築が可能となりました。この技術を用いることにより、予測精度の大幅な向上や個体の早期選抜だけでなく、これまでに推定できなかった非相加的な遺伝効果の利用についても期待されています。また、SNP情報を用いた系統分類による遺伝的多様性の確保についての取り組みも行われています。本セミナーでは、このような手法を用いて現在取り組んでいる研究について紹介します。

ご興味のある教職員・学生の皆さんは
学部・学科を問わず、ぜひご参加ください

主催：畜産草地科学科

問合せ先：井口 iguchi@med.miyazaki-u.ac.jp